

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理想・目的

福祉社会の創造を理想とし、トリプルケアを通じて生き甲斐の創造と信頼を提供

売上高成長率
6%営業利益率
6～7%ROE
12%以上

② 中長期の経営戦略

1. 地域包括ケアシステム推進

訪問看護と看護小規模多機能型居宅介護を重点投資サービスとし、医療ケア拠点を積極展開。セントケア版地域包括ケアシステム（コミュニティNo.1戦略）を推進

3. サービス連携強化

多機能型・訪問看護・訪問介護を組み合わせたコミュニティNo.1拠点展開。施設系から看護小規模多機能型居宅介護への業容転換推進

2. 収益基盤の強化

既存拠点強化、商品力やオペレーション見直し、基幹システム刷新、デジタルツールと生成AI活用で業務効率化。2025年4月に組織変更実施

4. 人材育成と定着

在宅系サービス全般のリスクリング支援、キャリアラダー整備、教育研修プログラム再構築。インフレ対応含む継続的昇給と働き方改善

③ 対処すべき課題

① 人材確保と採用難

- ・生産年齢人口減少による労働力不足と採用関連費用増加への対応
- ・業界全体で採用競争激化。業界内で事業縮小・倒産件数増加
- ・採用促進と定着向上による「働きたい」選ばれる企業づくり

② 介護報酬と物価高騰

- ・介護報酬改定の影響受け、医療ケア領域の専門性向上が必須
- ・物価高騰への経営対応と収益基盤安定化
- ・市場環境変化への迅速・柔軟な対応体制整備

③ 医療介護連携対応

- ・2024年度報酬改定で医療と介護連携強化が必須
- ・地域医療機関との連携深化と医療的ケア対応力強化
- ・各サービス間連携力向上で地域包括ケアシステム構築

面接で使えるポイント

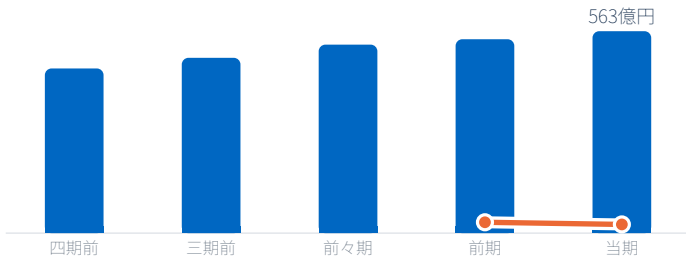
- ・「福祉社会の創造」と「生き甲斐の創造」という理念のもと、人のケア・家族のケア・街のケアのトリプルケアを実践
- ・2024年度報酬改定に対応し、訪問看護と看護小規模多機能型居宅介護を重点投資。コミュニティNo.1拠点展開で地域貢献
- ・在宅系サービス全般のリスクリング支援やキャリアラダー整備で、スタッフが成長を実感できる組織づくりを推進中

セントケア・ホールディング株式会社

サービス業 | 非上場（有報提出会社） | 決算期 3月31日 …

EDINETコード E05354

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

セントケア・ホールディング株式会社を中心に連結子会社29社及び持分法適用会社1社

主力事業・セグメント

・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
563億円

営業利益率
4.3%

財務健康度
53点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 45.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
532万円

平均年齢
42.62歳

平均勤続
11.39年

女性管理職
26.1%

男性育休
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

セントケア・ホールディング株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyo-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

